

2023年度のマイカー規制/シャトルバス運行計画（案）

1. 2022年度第2回 適正利用・エコツーリズム検討会議説明内容(2月1日)

- カムイワッカ湯の滝の利用方法そのものに変更が生じることから、これを踏まえ、2023年度以降のマイカー規制期間やシャトルバス運行のあり方を見直す必要がある。
- カムイワッカ地区へのアクセスについては、8月の繁忙期を中心とし、ウトロ地域または知床自然センターから直通のシャトルバス運行を検討する。運行期間中は、知床五湖ゲートからの車両規制を想定する。利用対象は事前の手続きを行った試行事業の参加者と登山者を想定する。運行頻度や使用機材については試行事業の計画と一体的に検討を行う。
- 繁忙期における知床五湖地区の混雑対策、渋滞対策については別途検討を行う。
- 9月～10月の3日間限定で試行を行ってきたホロベツ地区からのマイカー規制による新方式でのアクセス事業については、情勢変化を踏まえ2023年度の実施を見送る。来年度は過去3年間の実績と効果検証、今後の計画策定についての検討を行う。

2. 2022年度までの事業のまとめと2023年度の取り組み方針

- ・中長期目標で掲げた5つの将来目標それぞれについて過去2年の実績及び検討ポイントを以下にまとめた。

中長期目標	過去3年間の実績	2023年度の方針
1. 新方式の延長・魅力向上策	3日間のバスデイズを3年間にわたり主に9月に実施した。魅力向上の取組としてネイチャーガイドバス、岩尾別ふ化場ツアー、レンジャートーク、各種イベントとの連携を行った。	有用なデータ取得のための実施時期の再検討や繁忙期に展開するための共通理解を図ることを優先する。岩尾別のヒグマ対策は改正自然公園法の本格運用と連携して個別に実施する。
2. カムイワッカ園地のあり方・滞在時間延長化	湯の滝の利用区間を拡大する試行事業に着手し、これとの連携から潜在的な魅力と満足度の高さを再認識できた。道道知床公園線は落石防止工事及び擁壁工事が継続中。	カムイワッカ湯の滝の利用制度の確立と運用体制の構築に取り組む。道路工事の進捗を踏まえた、園地としての利用のあり方の検討を行う。
3. 従来方式・五湖以外への分散化	入込みの減少により、五湖駐車場の混雑・渋滞は緩和した。一方、シャトルバスの乗車実績も落ち込み、運賃収入も減少した。	カムイワッカ地区の限定利用が渋滞予測に与える影響を考慮しながら区間、日数を絞った現実的な代替輸送案を検討する。
4. 制度の最適化・有償化・スマートな決済の導入	新方式における有償化を行った。多様な利用形態やニーズを踏まえたシャトルバスの運行方式を試行した。	有償化を前提にした他の観光地との差別化、高付加価値型へのシフトを検討する。
5. 自立運営体制の確立	外的要因による入込みの減少により、収入見込みが減少した。補助金等の予算も不安定であり、自立的な運営に至っていない。	予算に見合った事業の優先順位付けを検討する。

3. 2023年度事業の実施計画(案)

(1)カムイワッカのマイカー規制と直通シャトルバスの運行

- <趣 旨> カムイワッカ湯の滝の2023年度の運用方法変更に伴い車両規制期間において現地への代替輸送手段を提供する。
- <期 間> **7月22日(土)～8月19日(土)【29日間】**
- <規制区間> 知床五湖ゲート～カムイワッカ(終日・道路交通法に基づき実施)
- <代替交通> 専用シャトルバス: 自然センター～カムイワッカ(直通)
- <検討事項> ①運行スケジュール、運賃、バス台数等の検討
②情報提供方法、乗り換えキャンペーンの検討
③規制期間中の除外車両、許可車両の取り扱いの検討
- <その他> 知床五湖を経由しない専用バスのため乗車地・五湖地区における十分な情報提供と問い合わせへの対応が求められる。

(2)路線バスの増便事業

- <趣 旨> カムイワッカ湯の滝地区から知床五湖への流入増加が見込まれるため7月連休並びに8月のお盆の時期に主に五湖地区の渋滞対策を目的としたバスの運行を実施する。
- <期 間> **①7月15日(土)～7月17日(月・祝)【3日間】**
②8月11日(金・祝)～8月16日(水)【6日間】
- <規制区間> 車両規制は行わない。
- <運行方法> 既存の路線バス(知床線)に加え、知床自然センター～知床五湖間を往復するバスを増便し、およそ30分に1便程度の運行を行う。
- <運 賃> 路線バスと同額とする。
- <検討事項> 情報提供方法、乗り換えキャンペーン、魅力向上策との連携
- <その他> 同期間はカムイワッカまでの道道が開通しており、五湖～カムイワッカ間の交通規制も混在することから、目的地に応じた利用者への情報提供が必要となる。

(3)将来ビジョン、マイカー規制、カムイワッカ園地のあり方に関する計画策定

- <趣 旨> これまでに実施してきた試行事業についての成果を総括し、次年度以降の再始動に資する計画策定を行う。
- <その他> 協議事項は適宜カムイワッカ部会等において報告する。

参考:知床オータムバスデイズの3年間の目標と2021年、2022年の実施状況まとめ

達成目標（3年後のイメージ）			実施結果	
			2021年度	2022年度
1	岩尾別地区-町道での野生動物観光の確立	9月から10月の車両規制を伴うシャトルバス運行期間の延長	10/1～10/3 3日間 前年と同期間実施	9/30～10/2 3日間 前年以前と同期間
		岩尾別地区、岩尾別町道沿いでのヒグマ等野生動物観察の体制づくり	ネイチャーガイドバス実施 午前午後各6便 ふ化場ツアー実施	ネイチャーガイドバス実施 午前午後各6便（往復） ふ化場ツアー実施 レンジャートーク実施（C系統）
2	カムイワッカの園地化とリブランディング	湯の滝試行事業と連携やトレッキング利用、風景探勝の多様な利用の展開	湯の滝試行事業を秋のシャトルバス運行と連携実施	同左 総合的なカムイワッカ園地のあり方検討
		平均滞在時間の延長を図り、これに耐えうるコンテンツの開発・試行	同上	
3	知床五湖の渋滞発生ゼロ	車両規制の有無にかかわらず、代替輸送の強化と五湖以外への分散化を図る	検討	同左
		8月に加え、5月連休、7月連休に対策を行い、渋滞発生日を軽減し、快適・スムーズな利用を実現	5月GW臨時路線バス運行 7月連休は案内実施	5月GW臨時路線バス運行 ・5/1～5/5 7月連休臨時路線バス運行 ・7/16～7/18
4	制度の最適化	ウトロ～カムイワッカ間の一気通貫でのわかりやすい利用モデルの確立	検討	同左
		運行方式（新方式、従来方式）や規制区間、利用制度との統合化、一本化の推進	8月・10月異なる方式で実施	5・7月、8月、10月を異なる方式で実施
	制度の最適化	登山者、ホテル等の利用を踏まえた岩尾別地区の最適化と利便確保	岩尾別線3便増便	同左 （宿泊施設の送迎協力あり）
	有償化の実施。スマートな決済サービスの導入	8月有償運行 10月無償運行 ※有償化に向けた検討実施	8月有償運行 10月有償運行（A・B系統）	
	旅行業取得と商品化、システム開発、MaaS化に着手	検討	有償化を踏まえたシステム開発検討	
5	自立運営体制の確立	収支バランスの均衡	全体事業を調整し収支バランスを図る	同左
		事業主体としての運営事務局の確立	検討	同左